

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 8 期） 策定のためのアンケート調査について

1 調査の目的

本調査は、市民やサービス従事者の高齢者保健福祉や介護保険制度に対する意見やニーズを把握することにより、府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 8 期）策定のための基礎資料を得ることを目的とします。

2 調査設計の方向性

- (1) 前回実施したアンケート（資料 4 参照）の種別、手法、調査項目及び標本数を基本として、設問の新規追加、削除、内容の見直しを行います。ただし、調査対象者及び調査項目が重複する場合は、統合・整理をすることで、効率的にアンケート結果を受けての事業検討に時間を費やせるよう工夫します。
- (2) 関係課と連携を図り、関連計画（府中市福祉計画、第 2 次健康ふちゅう 21 など）のアンケート調査（令和元年度下半期実施予定）も活用します。
- (3) 府中市の高齢者等を取り巻く状況や国の検討状況を踏まえた調査とします。
- (4) 回答しやすい調査票作成を心掛け、回収率の更なる向上を目指します。
- (5) 市内全域だけでなく、エリア（日常生活圏域、地域包括支援センター圏域）ごとの分析を想定した調査票とします。

3 調査概要

種別	手法	対象	標本数	時期（予定）
アンケート調査	郵送	市民 サービス従事者	H28 程度	令和元年 10 月 1 日 ～10 月 25 日
在宅介護実態調査 ¹	聞き取り	市民	700 人	令和元年 6 月 1 日 ～11 月 30 日
グループディスカッション ²		市民	検討中	令和 2 年度初旬
グループインタビュー ³		サービス従事者		

- 1 「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討するため、認定調査員による聞き取り調査を実施します。なお、設問は厚生労働省より指定されており、また実施に長期間を要することから、アンケート調査より先行して実施することとします（資料 5 参照）。
- 2 アンケート調査だけでは把握できないケースに対応するため、市民同士のグループディスカッションによる意見集約を検討します。
- 3 アンケート調査だけでは把握できないケースに対応するため、サービス従事者へのグループインタビューによる意見集約を検討します。